

ワッ!!すばらしいな

南条小に交通公園できる

町内ではじめての交通公園が南条小学校々庭に総工費七十二万円をかけて八月末に完成しました。公園の中には信号機をはじめ踏切、横断歩道などたくさんの方が設けられています。

この公園は県内でもまだめずらしく同校の自慢の一つとなり、交通事故の多発している現在、通学しながら自然に交通規則が学べると先生を始め生徒から大変喜ばれています。



手を上げて横断歩道を渡ろうよ!!

交通公園ができて

南条小五年 越川幹男

七月から交通公園の工事がはじまった。PTAの人たちや部落の人たちがきて手つだってくれた。

ぼくたちもあなをほったり、みぞをつくったりして手つだいをやった。みんなあせびっしりになって仕事をやった。そして九月のはじめに工事は終わった。信号機もふみきりけい報機もついた。横断歩道もセンターラインもかいた。朝登校したら信号機がついていたとてもいい気持ちだった。いつも夏になると四年生以上自転車くんれんというのをやる。去年までは町へ出てやっていたけど、今年からは学校でできる。とてもべんりだ。ぼくは、あせを流して手伝った。たかいかがあると思った。これからは自転車の乗りかたがもつと良くなると思う。南条小学校の生徒は交通事故をこれからぜったいおこさないようにしたい。

交通もぎ道路

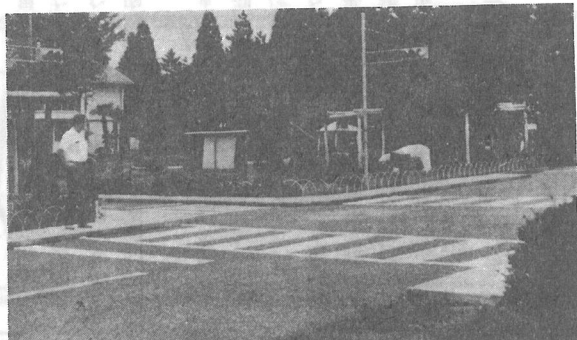
南条小六年 古川 悟

ぼくたちの学校に交通もぎ道路ができた。校門からはいったらすぐに十字路がある。四つのかどに信号機が一つずつある。ほんものそっくりの信号機だ。歩く道は

ほそ道路で横断歩道やふみ切まで作ってある。まるで、ほんものようだ。ぼくたちが住んでいる南条地区では信号機や、ふみきりなどはぜんぜんない。だから、ふみきりのわたりかたを学校で練習できるなんてすばらしいことだ。いつかはきつと交通事故なんてなくなってしまうだろう。でもいくらぼくたちががんばって規則を守ったって、ほかの人たちが守ってくれないとどうにもならない。いまは交通が「交通戦争」といわれるほど死者をたくさん出している。とびだし、信号無視、自転車の二人乗りなどがとてもあぶない。だからぼくたちは、もぎ道路でしっかり交通規則を身につけなければならぬ。でもそれが今のぼくにはうまくいかな。たとえ横断歩道を見してちがう所をわたったりしてしまう。規則を守るといふことはとてもむずかしいことだ。そのむずかしいところを努力して初めて交通事故をなくせるのだ、みんな協力しあって交通規則を守れば事故なんか一つもおこらないですむ。だからぼくたちはもぎ道路を利用して練習して、交通規則をしっかり身につけるよう心がけよう。

交通事故はほんとうにおそろしいもので、ほんの少しの間に片わになったり死んだりする。かすりさすですむのは、ほんの少しのわ

緑の中で交通教室を



りあいだ。だからよっぽど運がよくないとだめだ。平均一生に一度は事故にあいそうになったりするそう。こんなおそろしいことは早くなくさなければならぬ。だから、ぼくたちもしんけんにもぎ道路で、しっかり練習して交通事故にあわないように練習しなければいけない。もぎ道路ができてほんとうによかった、これも町長さんを始めPTAのみなさんのおかげだと思っています。

ぼくたちは、有効に利用し事故のないように心がけます。おとなの人もぜひ交通規則を守ってください。